

Back Number

本論文は

世界経済評論 2020年11/12月号

(2020年11月発行)

掲載の記事です



世界経済評論

定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー 読み放題!!



世界経済評論 定期購読



0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

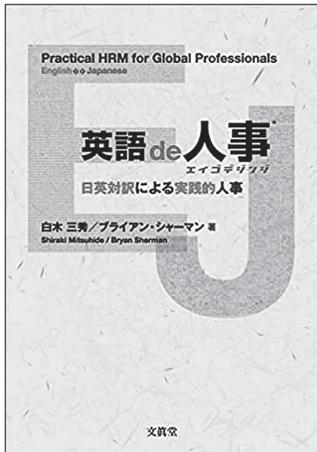
Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp
雑誌のオンライン書店

英語 de 人事

:日英対訳による実践的人事

神奈川大学経済学部教授 山本 崇雄



[著者]

白木三秀 (しらき みつひで)

早稲田大学政治経済学術院教授

ブライアン・シャーマン (Bryan Sherman)

グラマシー エンゲージメント グループ(株)

代表取締役

[発行] 文眞堂, 2020年4月

[判型] A5判, 554ページ

[定価] 本体2600円+税

本書は、グローバルな人的資源管理 (HRM) をめぐる様々なキー・イシューに関して、平易な日本語と英語の全文対訳での論述がなされたユニークな著作である。(グローバル) HRMの重要な理論や概念について記された10の章と、それに基づく17のケーススタディ、ならびに架空の日本企業を舞台とする10のサンプル・カンバセーションから構成されている。

HRMに関する書籍は、著者らが「はしがき」で論じるように、枚挙に暇がない。しかし、本書は以下の点で独自性を有している。

第1に、2名の著者により学術的視点と実践的視点の双方から、HRMに関する接近がなされていることである。従来、企業のHRポリシーは、国ごとでの差異が非常に大きかったが、近年グローバル人材向けのHRポリシーを中心に世界的に収斂する傾向が見られる。それに伴い、人事部に求められる役割や価値が変容しつつある。そうした昨今のHRMの変容について、学術面・実践面双方の観点から紙幅が割かれている。たとえば、エンプロイヤー・ブランディング (第2章)、タレント・マネジメント (第6章)、職場でのハラスメントやコンプライアンス (第7章) といった新しいイシューに関する論説もなされており、興味深い。

第2に、日本企業が抱えやすいHR上の諸課題が明確化され、即効性の高い方策が提示されているという点である。特にケーススタディは実例に基づく内容となっており、海外派遣者や現地従業員が直面する課題点が浮き彫りとなっている。たとえば、人事評価の仕組みや歓迎されないポジション異動を現地社員にどのように伝達し、どう理解してもらえば良いのか。また、海外子会社における採用面接での留意点など、日本人の海外派遣社員が相対する難題について、処方箋を学ぶことができる。

第3に、本書の内容が紙ベースにとどまらず、デジタル化の推進がなされている点でも斬新さが見られる。「オンライン・ラーニング・ラウンジ」がネット上に開設され、ネイティブによる音声を聴いたり、読者同士での交流などが可能となっており、HRM関連の英語を「耳」からも習得することができる。

コロナ禍の影響により、「ジョブ型」労働への移行が見られるなど、日本型労働慣行が急速に変移する可能性が論じられている。HRMに関心のある実務家・研究者だけでなく、海外と接点をもつ可能性のあるビジネスマン、学生など広範囲にわたり有益な書であり、一読を強くお勧めしたい。

(やまもと たかお)